

元 気 だ し て い こ ! 新 潟

視聴覚教材利用のすすめ
平成16年度社会教育主事講習 [B]
第6期新潟県生涯学習審議会

県立生涯学習推進センター
県立生涯学習推進センター
県教育庁生涯学習推進課



生涯学習のマスコット
“マナビィ”

視聴覚教材利用のすすめ ~観たいものが見つかる!??~

生涯学習推進センターでは、高等学校や大学、県立施設・機関等の登録団体を対象に、16ミリフィルムやビデオ等の視聴覚教材の貸し出しを行っています。現在16ミリとビデオを合わせると約3,000本の視聴覚教材を所有しています。教材目録は当センターの生涯学習情報提供システム、「ラ・ラ・ネット (<http://www.lalanet.gr.jp/>)」に視聴覚教材データベースとして載せてあります。目的の映像を、タイトル名や教科領域、社会教育分野、キーワード等で検索できるようになっています。

下記は今年度購入した教材の一部です。ラ・ラ・ネットで検索すると、このような作品紹介をしています。ぜひ一度御覧になってください。映像に関するお問い合わせと貸出予約受付は、電話025-284-5525で行っています。

なお、市町村立学校や地域公民館等は、まず最寄りの地域視聴覚ライブラリー・センターに御相談ください。

タイトル	規格	作 品 の 概 要
セツちゃん	ビデオ 34分	高木家は父・雄介、母・和美、娘・加奈子の三大家族。ある日、加奈子が「セツちゃん」について話し出す。転校してきてすぐに嫌われ、仲間はずれにされているという。以来加奈子は「セツちゃん」について頻りに語っていた。しばらくして加奈子の運動会を見に行った両親は、「セツちゃん」という転校生は存在せず、加奈子自身がいじめにあっていることを知る。重松清原作
どんぐりと山猫	ビデオ 20分	『どんぐりと山猫』は、童話集『注文の多い料理の店』の巻頭を飾る作品で、ほのぼのとしたストーリーの中にも、差別を超越して平等を求めるといった、宮沢賢治の思想が息づいています。ある晩、一郎の家におかしなはがきが届いていました。そのはがきには、「一郎さま、あした、めんどうなさいばんしますからおいでんないは.....。山ねこ拝」と書かれていました。アニメーションビデオ
手紙	ビデオ 18分	タケオは、おじいちゃんのことを苦手だった。いつもあまり笑わないし、怒ったようにものを言うから、きっと自分のことをきらいなのだと思っていた。ところが、ある夏の日、そのおじいちゃんが声を殺して泣いていた。その手に一通の手紙を握りしめて.....その手紙は、戦争の時におじいちゃんと同じ戦場にいた友達が、両親に向けて書いたものだった。おじいちゃんは、友達を書いた手紙のことを話し始めた。アニメーションビデオ
ホーム・スイートホーム	DVD 110分	元オペラ歌手、山下宏(75歳)は認知症である。部屋でも街頭でも力の限り歌い徘徊する毎日。取り巻く娘夫婦達の苦悩と軋轢は限界に達し、ある決断をする。それは岩手のグループホーム「おぼんでがんす」の前に宏を置き去りにすることだった。壮麗な岩手山、グループホーム「おぼんでがんす」を舞台に心やさしき日本人たちのふれあいと再生のドラマが展開する...
郡上 一 揆	DVD 112分	江戸時代中期、岐阜県・郡上(ぐじょう)の地で起きた大規模な一揆は足掛け5年にわたり、最終的に農民側の勝利に終わるとい他に例を見ないものであった。江戸時代三大一揆といわれている。郡上藩主・金森頼錦は、浪費を重ね、藩財政は悪化の一途を辿る。そのツケはさらなる重税策として農民たちに負わされていた。そして、追い詰められた農民たちはついに立ち上がった.....。このDVDは岐阜県出身の神山征二郎監督が緒形直人主演で映画化したもの。
Meet the Human Rights	ビデオ 27分	6人の若者たちが、人権問題に取り組んでいる人や当事者たちと実際に会い、話を聞き、事実を知り、率直に話し合う。そして、自分の中で、あるいは世間の中で、日常的に無自覚に行われてきた言動に潜む「偏見や差別」を自覚する。人権との出会いと発見を若者自身の言葉で描くドキュメンタリービデオ。

平成16年度社会教育主事講習[B]

当センターでは、1月17日(月)から2月23日(水)までの38日間にわたり、東京上野の国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの講義を、エルネットを通じて受信し、県内市町村の生涯学習・社会教育担当職員等16名の参加を得て(今回は富山県の市町村の方も受講)、平成16年度社会教育主事講習[B]を実施しました。

「生涯学習概論」「社会教育計画」「社会教育特講」「社会教育演習」の4科目について、勤務の関係で2～3年かけての分割取得を目指す方も含め、講義の視聴、課題の提出、宿泊研修、施設見学、学習プログラムの作成等を通じ、学習しました。受講者相互に生涯学習について議論を重ね、情報交換をし、友情を深め、ネットワークを築きながら、38日間を無事終了しました。

受講された方々が、この講習で学んだことを基礎に、それぞれの立場で様々な経験を積み、本県の生涯学習推進に寄与されることを祈念いたします。

受講者の声

職場を離れ、勉強させていただいたことに、まず深くお礼を言いたいと思います。

それぞれの科目でだされる課題は難解なものもあって、苦労しましたが、一つ一つの講義が生涯学習に携わる私にとって、非常に有意義なものでありました。

また、38日間の中で築いたネットワークは一生の財産になるものだったと思います。中央に行かずとも、こんな貴重な経験ができることを、私は広く伝えたいと思います。

新潟市 K, I



(開講式の様子)



(新潟市西総合スポーツセンター施設見学)



(演習 学習プログラムの立案)

第6期新潟県生涯学習審議会

平成17年2月3日(木)に、第1回新潟県生涯学習審議会が開催されました。

今期の審議会(会長 生田孝至氏、副会長 遠藤孝夫氏)では、「新潟県生涯学習推進プラン」を策定してから10年以上経過し、地方分権の推進と民間活力の導入、情報通信技術の革新によるIT社会の到来、少子高齢化の急速な進行、地域の教育力の低下など生涯学習を取り巻く社会情勢が急激に変化してきていることから、本県の生涯学習推進の現状を検証し、多様な角度から社会の動向を見据え、今後の生涯学習推進の在り方について審議を行うこととしております。

新潟県立生涯学習推進センター

新潟県生涯学習情報提供システム

「ラ・ラ・ネット」<http://www.lalanelt.gr.jp/>

すこやかコール(家庭教育子育て電話相談)

TEL:025-283-1150

FAX:025-284-6019

学習相談

TEL:025-284-6119

soudan@mail.lalanelt.gr.jp

新潟県体験活動等支援センター

TEL:025-284-6145

taiken@mail.lalanelt.gr.jp

